

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●朝日杯フューチュリティSはドルチェモアが優勝

12月18日(日)に行われた朝日杯フューチュリティS(G I)では1番人気のドルチェモア(牡2歳/栗東・須貝尚介厩舎)が優勝、デビュー3連勝を飾るとともにG I初制覇を果たしました。

### ●福永祐一騎手がJRA年間100勝を達成

12月18日(日)の6回阪神6日・第9レースとして行われた高砂特別ではラヴケリーが1着となり、同馬に騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は、本年6人目、自身にとっては13年連続14回目となるJRA年間100勝を達成しました。

### ●B.ムルザバエフ騎手がJRA初勝利をあげる

12月18日(日)の6回中京6日・第2レースではルーパステソーロが1着となり、同馬に騎乗したバウルジャン・ムルザバエフ騎手(ドイツ)は、JRA初勝利(13戦目)をあげました。

### ●2022ヤングジョッキーズシリーズは小林凌大騎手が優勝

JRAと地方競馬の若手騎手計16名によって争われてきた2022ヤングジョッキーズシリーズは、12月16日(金)の「ファイナルラウンド名古屋」と翌17日(土)の「ファイナルラウンド中京」をもって閉幕。3勝をあげて91ポイントを獲得した小林凌大騎手(美浦・小西一男厩舎)がチャンピオンに輝きました。

### ●メイショウダッサイらの競走馬登録抹消

2021年中山グランドジャンプ(J・G I)などの勝ち馬メイショウダッサイ(牡9歳/栗東・飯田祐史厩舎/JRA通算36戦10勝)のほか、2015年デューラー杯2歳S(G II)などの勝ち馬エアスピネル(牡9歳/栗東・笹田和秀厩舎/JRA通算29戦4勝・地方5戦0勝)、2021年チューリップ賞(G II)の勝ち馬エリザベスタワー(牝4歳/栗東・高野友和厩舎/JRA通算5戦2勝・地方1戦0勝)、2022年スポーツニッポン賞京都金杯(G III)の勝ち馬ザダル(牡6歳/美浦・大竹正博厩舎/JRA通算16戦6勝)は、11月23日(祝・水)までに競走馬登録を抹消されました。メイショウダッサイはJRA馬事公苑、エアスピネルは茨城県阿見町のうまんまパークで乗馬となり、ザダルも乗馬となる予定ですが行き先は未定。エリザベスタワーは北海道千歳市の社台ファームで繁殖馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●59<sup>kg</sup>のラブタスが兵庫ゴールドT(園田)で5度目のJpnⅢ制覇

兵庫ゴールドトロフィー(JpnⅢ、12月21日、園田、1400<sup>m</sup>)は、3~4番手を追走した4番人気のラブタス(幸英明騎手、騾6歳、父ディープリランテ)が直線半ばで差し切りました。単勝1.6倍で断然人気のシャマルは1馬身差の2着、サクセスエナジーが3着、逃げた3番人気のオーロラテソーロが4着に入ってJRA勢が上位を独占。2番人気の地元兵庫のイグナイターは5着でした。

### ●ゴールドウィング賞はセブンカラーズ【各地の主要2歳重賞】

ゴールドウィング賞(11月22日、名古屋、1700<sup>m</sup>)は、逃げたセブンカラーズ(牝、父コパノリッキー)が後続を3馬身引き離し、単勝1.5倍の支持に応じてデビュー以来の連勝を4に伸ばしました。カベラ賞(11月13日、佐賀、1800<sup>m</sup>)は、5番手前後を進んだ2番人気の北海道デビューの宮崎産馬ネオシエル(牡、父ケイムホーム)が2周目3、4コーナー中間で先頭に立って4馬身差で楽勝。ハイセイコー記念(11月16日、大井、1600<sup>m</sup>)は、中団から向正面で2番手に進出した3番人気のマンダリンヒーロー(牡、父シャンハイボビー)がゴール前で差し切り、こちらも無傷の4連勝となっています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●木村和士騎手がウッドバイン競馬場で2年連続の首位騎手

カナダで活躍する木村和士騎手(23歳)が、同国を代表する競馬場であるウッドバイン競馬場における2022年のリーディングジョッキーに輝きました。木村騎手は今年4月16日のシーズン開始から12月11日の閉幕までに、ルジュールで制したG 1 E.P.テイラーSなど重賞6勝を含む152勝をマーク。2位のR.ヘルナンデス騎手に30勝もの差をつけ、日本人として初めてトップに立った昨年に続いて2年連続の戴冠となりました。

### ●デットーリ騎手が来年限りでの引退を表明

世界的な名騎手であるランフランコ・デットーリ騎手が現地12月17日に2023年限りでの現役引退を表明しました。11月3日、4日にアメリカのサンタアニタパーク競馬場で行われるブリーダーズカップ開催が最後の騎乗になる予定です。イタリア出身のデットーリ騎手は1970年12月15日生まれの52歳。イギリスのチャンピオンジョッキーに1994、1995、2004年と3度輝いたほか、凱旋門賞ではラムタラ(1995年)、サキー(2001年)、マリエンバード(2002年)、ゴールデンホーン(2015年)、エネイブル(2017、2018年)で史上最多の6勝をあげるなど数多くのビッグレースを制覇。日本でもジャパンカップをシングスピール(1996年)、ファルブラヴ(2002年)、アルカセット(2005年)で3勝、ジャパンカップダート(現在のチャンピオンズカップ)をイーグルカフェ(2002年)で制しています。